

洛陽病院一般内科/総合診療科臨床再研修プログラム
(キャリアチェンジ・復職支援)



医療法人寿尚会 洛陽病院

一般内科/総合診療科臨床再研修プログラム (キャリアチェンジ/復職支援)

どのようなかた向けのプログラムか

- ・ 基本的臨床能力をもう一度学び直したいと考えているかた
- ・ 出産/育児のブランクからの臨床能力を考えているかた
- ・ 開業予定があり、その前に一通りのコモディーズへの対応ができるようになりたいと考えているかた
- ・ 専門医（スペシャリスト）から総合医（ジェネラリスト）への転身を考えているかた



「専門医」から「ジェネラリスト」への転身

消化器内科、小児科、放射線科、麻酔科、泌尿器科、病理科、救急科、整形外科など様々な専門診療科に所属していた

div>専門医のかたの、ジェネラリストへの転身を本プログラムはサポートし、開業や地域病院勤務のお手伝いをします。
/div>

基本的臨床能力向上のための再学習

主に研究に携わってきた医師や、産業医活動や健診業務に従事してきた医師も、臨床能力の向上を目的としたプログラムを活用することが可能です。

出産・育児等によるブランクからの臨床復帰

医師になってまもなく出産および育児といったライフイベントがあり、基本的な臨床能力をトレーニングする機会を失っていたかたや、出産・育児・介護のために臨床のブランクを生じ、臨床への復帰を躊躇していた医師をサポートします。



再研修プログラムの概要

医療面接能力、基本的身体診察能力、鑑別診断能力、初期対応能力の向上を目指して、洛陽病院の一般内科医となり、外来/入院診療において総合診療/家庭医療指導医による指導のもとOn the Job Training を行います。

毎日夕方に指導医とすべての外来症例/新規入院症例の振り返りを行います。また入院症例の定期的なカンファレンスを実施します。

本プログラムは、2年間での「日本プライマリ・ケア連合学会 プライマリ・ケア認定医」の取得を推奨します。その後、総合診療特任指導医・日本プライマリ・ケア連合学会指導医の取得も可能です。

1) プログラム詳細

●プログラムの目的と背景

医師の臨床再研修プログラムが必要となる背景には、出産や育児、介護などのライフイベントによるブランク、キャリアチェンジ、地域医療にニーズなどが挙げられます。

- ・ライフイベントによるブランク
出産や育児、介護などのライフイベントにより、臨床から離れる期間が生じることがあります。この場合、臨床能力の維持や最新の医療知識の習得が難しくなることがあります。
- ・地域医療のニーズ
地域医療においては、幅広い診療能力が求められます。特に開業や中小病院での診療に対応するためには、総合的な臨床のうりょくが重要です。

臨床再研修プログラムの目的は、医師の「学び直し Re-skilling」と「学びほぐし unlearning」を後押しし、キャリアの転換/中断後の復職・転職を支援することです。

●プログラムの内容と特徴

- 最新の医療知識と技術のアップデート
最新の診断技術や治療法に関する講義やワークショップの受講機会を提供します。これにより、最新の医療情報を習得、現場で即戦力として活躍できるようになります。
- メンタルヘルスサポート
キャリアの転換/中断後の復職・転職に伴うストレスや不安を軽減するためのメンタルヘルスサポートを提供します。カウンセリングやメンタルヘルスに関するワークショップが含まれます。



再研修プログラムの概要

●プログラムの内容と特徴

● 個別カスタマイズした研修/勤務プラン

個別ニーズに応じた研修/勤務プランを提供します。ライフイベントに対応した時短勤務や早出/残業免除にも対応します。定期的な振り返り（reflection）やカルテビュー・360°評価・外来直接観察・症例レポート作成を通して、高い臨床能力と最新の医療知識の習得を支援します。

● ネットワーキングとロールモデルの紹介

他の医師や専門家とのネットワーキングの機会を提供します。また、経験豊富なロールモデルを紹介し、キャリア形成を支援します。

これらを通じて、医師が安心してキャリアチェンジや復職できるよう、包括的なサポートが提供されることがこのプログラムの特徴です。

2) 週間スケジュール

●就業時間内にカルテビュー・勉強会の時間を確保します

●週4回 フルタイム勤務の例

	月	火	水	木	金	土
午前	ミーティング		ミーティング	ミーティング	ミーティング	
	外来		病棟/救急	外来	病棟 指導回診	
午後	病棟		病棟	病棟/救急	病棟	
	カルテレビュー		勉強会/カンファ	カルテレビュー	カルテレビュー	

※救急：近隣施設（特別養護老人ホーム・老人保健施設・グループホームなど）からの直接紹介・開業医からの入院依頼対応・2次/3次病院からの即日入院紹介・定期外来時間外の徒歩受診患者が中心です



再研修プログラムの概要

3) プログラムの到達目標と一般目標・評価・終了基準

●到達目標

ワークライフバランスを取りながら、最新の医療を含めた知識と必要な診療手技、治療計画の構築と必要な指示を出す技量を習得し、一般内科/総合医としてふさわしい医師になることができる。

●一般目標

- 1) 今後進むキャリアパスを想定でき、計画できる。
- 2) 一般内科/総合診療外来の診療が行える。
- 3) 疾患別に緊急度の評価を行うことができ、対応・管理ができる。
- 4) プライマリ・ケア認定医取得に必要な疾患を経験できる。
- 5) 適切なプレゼンテーションができる。
- 6) 必要なタイミングで人に相談ができる。
- 7) 自分の体調管理や予定管理ができる。

●方略

- 1) 外来にて、一般内科外来（定期受診/初診）患者の診療を中心に行う。
- 2) 日勤帯の救急外来患者に対応する。
- 3) 入院患者の担当医となる。
- 4) 院内勉強会や学会認定ワークショップに参加する。
- 5) 病診連携を意識して、院外および院内に向けた講義や学会発表を行う。
- 6) 総合医育成プログラムを受講する。

●形成的評価

- 1) 3ヶ月に1回面談し、問題点を修正する。
- 2) 一般外来診療/入院症例のカンファレンス。
- 3) 外来直接観察・ビデオレビュー
- 4) 360° 評価。
- 5) 勉強会への参加。
- 6) 指定症例のレポート。



再研修プログラムの概要

3) プログラムの到達目標と一般目標・評価・終了基準

●総括的評価（修了基準）

- 1) 研修期間（2年間）を満了していること。
- 2) 1年目末に各職種からの360°評価を受け、形成的評価に従った改善活動を行っていること。
- 3) 1年目末に外来直接観察を受け、形成的評価に従った改善活動を2年目に行っていること。
- 4) 指定9領域の詳細事例報告書を提出し合格レベルと判断されていること。
 - ①個人への健康増進と疾病予防
 - ②小児・思春期のケア
 - ③高齢者のケア
 - ④終末期のケア
 - ⑤女性の健康問題
 - ⑥男性の健康問題
 - ⑦リハビリテーション
 - ⑧メンタルヘルス
 - ⑨救急医療
- 5) 臓器別の問題10領域（各2例ずつ）の簡易症例報告書を提出すること。
 - ①心血管系
 - ②呼吸器系
 - ③消化器系
 - ④代謝内分泌・血液系
 - ⑤神経系
 - ⑥腎・泌尿器系
 - ⑦リウマチ性・筋骨格系
 - ⑧皮膚
 - ⑨耳鼻咽喉
 - ⑩眼
- 6) 2年目末の直接観察総括的評価をプログラム責任者から受け、診察内容とコミュニケーションでの評価で60点以上をとること。

●対象

平成16年度以降の医師国家試験合格者にあつては、初期臨床研修を修了（修了見込みを含む）した医師。



指導医からのメッセージ



京都市市街地の北端『岩倉』の地で当院は、「地域のかかりつけ病院」として、長年「入退院の支援」「時間外診療」「介護サービス等と連携した医療」を提供し続けてきました。

そんな当院の取り組みを後押しするかのようにより、いよいよ2025年4月から「かかりつけ医機能をもつ医療機関を患者が選択する際のサポート」や「地域全体でのかかりつけ医機能の充実を図る」ための報告制度（かかりつけ医機能報告制度）が始まります。

この制度の開始に先立って、洛陽病院は新しく『一般内科/総合診療臨床再研修プログラム』を始めることにいたしました。このプログラムは医師のキャリアアップや復職とサポートし、一般内科/かかりつけ医として必要な知識と技術を習得させるプログラムです。

17診療領域のほとんどをカバーし、日常的な40程度の疾患に対応できて患者の相談に応じられるスキルの向上を支援しています。

是非私たちと新しい都市型地域医療に取り組みながら、病棟型かかりつけ医として働いてみませんか。様々な事情で時間制約のある方でもやる気さえあれば安心して学べるようにできるだけご相談にのりたいと思います。

一度見学に来てください。お待ちしております。

内科部長 賀來敦

総合診療専門医/指導医・家庭医療専門医/指導医
日本プライマリ・ケア連合学会/日本医学教育学会 代議員



医療法人寿尚会 洛陽病院

〒606-0017

京都府京都市左京区岩倉上蔵町143

TEL:075-781-7151

FAX:075-781-7156

